

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年1月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690500048
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム てね(里山)
所在地	鹿児島県いちき串木野市小蘭5050番地1 (電話) 0996-33-2210
自己評価作成日	令和6年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年2月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・H27年4月より敷地内に児童発達支援センターと就労支援施設等の障害者施設が開設し、子供達や障害者の方と交流を図っているが、コロナの影響で直接な交流は、出来ていないが、現在も間接的な交流をしている。
- ・毎朝申し送り時、マスクや換気をしっかりしたうえで、復唱を行ない理念に沿ったケアが出来るように取り組んでいる。
- ・年4回のホーム便り(てね便り)発行し、地域の方や家族の方に配布を行っている。
- ・四季の行事を行ったり、年に1回、誕生日の月に本人の要望を取り入れ、家族と話し合いながら、わがままdayを実施したり生活リハを取り入れながら生きがいを見出し、今を楽しく生活できるように支援している。
- ・地域ボランティアによるころばん体操は、コロナ禍の影響により現在も行えていない。コロナ禍が落ち着き、地域の方々と触れ合う事が出来る様になった際には、ころばん体操を再開したいと思います。
- ・介護相談員事業に参加し、毎月1回入居者と話しをして頂き、サービスに関して不安や不満を聞いて頂きサービスに繋がられるように実施している。
- ・コロナの影響で現在は出来ていない。
- ・コロナを気にしながら徐々に、以前のような形に戻れるように取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各ユニットにて、理念は掲示しているも、コロナ禍においては、声を出しての唱和は、中止している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍において、直接の触れ合い等、いまだ難し状態ですが、近くに見えた際には、窓越しに手を振り、挨拶をされる。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍において、現在も直接の地域貢献は、難しい状況ですが、相談者又は、家族の皆様には、認知症の情報を伝えていきます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍においても、対策をしつつ、運営推進会議を行っている。家族の方様には、イベントや日常を含めた写真や電話、手紙にて状況を発信し意見交換を進めサービス向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当者とは密接にコミュニケーションをとり、不明な点は確認し、アドバイスや指導は実施し、信頼できる関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を行わないことを徹底し、身体拘束・虐待防止委員会により3カ月に1回研修を行っています。担当者が選んだテーマに沿って、議論をしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待を防ぐ目的で研修会やネット研修に参画している。普段の業務で不適切なケアを確認したら、本人に注意喚起し管理者に報告している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護の意義や、権利擁護を実現する法制度や制度について、全体会議などで研修している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書や利用契約書などについて、時間をとって詳しく説明し、同意と捺印をいただいている。疑問点があればそれを説明している。消費税率や各種加算の変更についても口頭や文書で伝えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を置いているが、入居者や家族は職員と直接コミュニケーションをとることが多い。職員はその要望やご意見を申し送りや会議で話し合っ対処している。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ユニット会議や全体会議で施設長や管理者と職員の思いや提案を伝え合っている。そして、朝礼で利用者の状態の変わり目をスタッフに知らせ情報共有している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務表を通じて、休みの希望や有給休暇などを調節し、ストレスなく働ける環境を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフに外部や法人内の研修の機会を知らせている。現在は、コロナ対策の為、ハイブリッド研修にて研修会場かzoomでのリモートを選んでもらい、研修を実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や周辺のグループホームとの交流は、コロナの対策で現在もメールで情報を共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様の基本情報を把握し、コミュニケーションを図りながら、状態や趣味、嗜好、ご希望等の傾聴を行う。また行動を観察し、生活の留意点の把握を行い。本人様が安心して過ごせる様に努める。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に不安をお持ちのご家族には、説明や契約の際に分かりやすく説明することを重視している。さらに、不安なことがあればいつでも電話で連絡してもらい、不安を解決するように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始後もケアプランが、本人様とご家族の希望に添ったものになっているか、確認を行いケアプランが、常に最適なものになるように務めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活の中で、利用者様が能力に応じ自立した日常生活を営めるようにするために、スタッフは支援しコミュニケーションを通じて、信頼関係を築けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>支援していく中で、気が付があれば、ご家族にお伝えし、知り得た情報は、カルテ等に記録し、スタッフ間で共有している。また、ミニお便り等を活用し本人様の日頃の様子をお伝えしたりご希望があれば、出来る限り添えるように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ5類への緩和されたことから少しずつではあるが、本人様とご家族知人の方とマスク着用にて面会が可能である。又、時々本人様の自宅近く等ドライブへ出かける支援を行っている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様間でコミュニケーションを取りやすくするためにレクリエーションを活用している。又、共同生活の中で、孤立することのないよう、生活リハビリとして洗濯物たたみや新聞折り等利用者様同士で行えるよう支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>病院や他施設、地域コミュニティーと情報を共有し、退去後も本人様やご家族との連絡が出来る体制である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	支援の中で、生活パターンの変化や行動の変化が有れば、スタッフ間で情報を共有しケアプランを見直している。本人様の状態や希望を把握し安心した生活が、送れるよう支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントをしっかりと取り、スタッフ間で情報を共有している。又、自宅で使用していた物を持参して頂き、本人様が、安心して過ごせるよう、努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	歌が好きな方、塗り絵が好きな方、散歩が好きな方など、興味のあることを生活に取り入れている。心身状態を見ながら、ご本人が有する力を引き出せるケアに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のフロア会議で利用者、家族の意向等について確認し支援方法を考えている。変更がある場合は、その都度調整を行ないスタッフと情報共有をしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝夕の申し送りの際、新たな情報や変更点等を示し情報の共有を行っている。スタッフの気付きは記録し実践や介護計画に反映させプランにもと基づいた日々の記録を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりの要望希望等を伺いなるべく、それに沿った柔軟性を持ったサービスの提供に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人を取り巻く地域資源を把握しその人らしく安全で豊かな暮らし生きがいを持って頂けるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については、家族の希望を確認している。かかりつけ医以外は、家族へ受診を依頼している。移動介助が困難な場合スタッフにて送迎を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>本人の体調不良等が見られた際には、その都度病院へ連絡し、主治医・看護師の指示を受けている。必要に応じて、病院で適切な受診や看護を受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際にはサマリーを作成し、施設での状態や生活状況を提供している。ご家族や病院関係者と密に情報交換し、早期に退院ができるように、病院関係者との関係づくりに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に、ターミナルケアの意向をご家族に聞き、対応を行っている。また入居者の状態変化に応じて、その都度主治医・ご家族と話し合いを重ね、適切と思われる方法で取り組んでいる。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時にはAEDが使用できるように、救命講習を受講している。最近はコロナ禍の影響により、中止している。また応急時の対応については、マニュアルを作成し、いつでも閲覧が出来るようにしている。冷静に行動が出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練については、消防署立ち合いと自主訓練を、年2回実施している。また、その際には毎回状況を変え、状況に応じた避難方法が身につけられる様に、訓練を行っている。スプリンクラーや緊急通報装置を設置している。防災設備については、定期的に業者が点検をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の自尊心を傷つけないように、配慮している。また、個々のプライバシーを大切に、それぞれに応じた対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や思い・話しやすい環境作りをし、自己決定が出来るよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の思いを尊重し、希望に添い、穏やかに過ごしていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に応じた服や、本人の好みに合わせた物を選択している。また訪問理容師に依頼し、散髪を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好を考慮し献立を立て、食べやすいように食事形態も工夫している。また行事食等、季節が感じられる事が出来るように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの体調に応じて、食事量や栄養のバランスを考えている。歯の少ない方や食の細い方には、食べやすいようにカットするなど、配慮して提供している。水分量については、一日を通し確保できるように声掛け等の支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に出来る方は見守りで歯磨きをしていただき、ケアが必要な方には介助を行っている。また夕食後の口腔時には義歯を預かり、義歯洗浄剤を用いて、清潔管理に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを活用し、個々の排泄パターンや状態把握に努めている。声掛けや促しを行い、残存機能を生かし、自立に向けた支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの1日に必要と思われる水分摂取量に心掛け、便秘傾向にある入居者の方には、お茶だけではなくコーヒーや牛乳等を提供し、改善に努めている。また必要であれば、医師に相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴のタイミング等は、入居者の希望に沿って決めている。残存機能を活かし、出来ない所は職員が介助を行っている。季節や一人ひとりのお湯加減に配慮を行い、入浴を楽しめるよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日常生活の中で、自席で椅子に座っての生活だけではなく、日向ぼっこやソファでゆっくりくつろいで頂ける場を提供している。また好きな時間に居室で休息が出来る様に、支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋を活用し、薬の作用や副作用について、把握している。また薬の変更があった場合には、服用前や服用後の状態確認を行っている。異常時には病院へ連絡し指示を仰ぎ、職員間で情報共有を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	能力を活かし、個々に沿った生活リハビリを支援している。計算ドリルや季節の塗り絵など、一人ひとりが楽しめるように、工夫している。またレクリエーションや毎月の行事等を行うなど、気分転換が出来る様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍が少し治まり、利用者の昔の趣味を活かしたり、季節を感じていただくために、少人数で近場へのドライブに出掛けるなど、楽しんで頂ける様に工夫している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金はご家族に承諾を得て、一部のお金を本人が所持し、使用出来る様にしている。また、ご家族より預り金として施設が管理をしている。個人の必要な物品等を、預り金で購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの贈り物のお礼や、本人の不安時にご家族へ電話をし、ご家族との交流関係が途切れない様に、支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎朝玄関やホールの掃除を行い、トイレは1日3回清掃をしている。共有空間については、汚れた所はその都度清掃を行うように努めている。2ヶ月に1回、各担当利用者の衣類チェックや衣替え、また天気の良い日には布団を干したりと、居心地よく過ごせるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールでテレビを観る方・新聞を読まれる方・自室で休まれる方・自室で新聞を読まれる方等、一人ひとりの居場所がある。またホールソファで、気の合った利用者同士が座り、会話が出来る様に工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人にとって大切にしているぬいぐるみ等を、ベッドの横に置いている。また棚の上には、ご家族の写真を置いたりし、安心して過ごせる居室作りに取り組んでいる。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>身体の状態に合わせた家具の配置を行っている。またベッドから移動しやすい様に、高さ調整をしている。夜間には安全に移動が出来る様に、照明をつけるなど工夫している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない